# 家族観の押しつけ:自民党草案 第24条

現行憲法	自民党 憲法草案
第24条	(家族、婚姻等に関する基本原則) 第24条 (新設) 家族は、社会の自然かつ基礎的な単 位として、尊重される。家族は、互いに 助け合わなければならない。
婚姻は、両性の合意のみに基づいて成立 し、夫婦が同等の権利を有することを基 本として、相互の協力により、維持されな ければならない。	2 婚姻は、両性の合意のかに基づいて成立し、夫婦が同等の権利を有することを基本として、相互の協力により、維持されなければならない
2 配偶者の選択、財産権、相続、 <u>住居の選定、離婚並びに婚姻及び家族</u> に関するその他の事項に関しては、法律は、個人の尊厳と両性の本質的平等に立脚して、制定されなければならない。	3 <u>家族、扶養、後見、婚姻及び離婚</u> 、財産権、 相続 <u>並びに親族</u> に関するその他の事項に 関しては、法律は、個人の尊厳と両性の本 質的平等に立脚して、制定されなければな らない。

出典:日本国憲法及び自由民主党日本国憲法改正草案をもとに蓮舫事務所作成 平成28年10月5日(水) 参議院予算委員会 蓮舫(民進党・新緑風会)

算委 另

Ш

枡

28

から提言されて面期的だと期待しました。昨年夏 に民主党政権に提出された外部識者らの報告書で も集団的自衛権にかかわる解釈や非核三原則の見 直しも入っていました。しかし最終的には何も触 れずじまいです。「動的防衛力」 というご立派な 理念は打ち出されていますが、具体的な装備や人 員は潜水艦を除いて削減ばかりです。やはり憲法 で自主防衛という上台が定まらないから、こんな 事になるんですよ。

稲田 今、防衛費は約四兆六千八百億円(二十 二年度予算)で、GDPの一%以下です。民主党 が平成二十一年衆院選で約束した子ども手当の満 額にかかる約五兆五千億円よりも少ない。この子 ども手当分を防衛費にそっくり回せば、軍事費の 国際水準に近づきます。自分の国を自分で守るこ とを選ぶのか、子ども手当を選ぶのかという、国 民に分かりやすい議論をすべきでしょうね。

### 中国の「心理戦」にやられかなない

佐藤 自民党への支持の話に戻りますが、自民 党政権は、「やれく しっかり国を守れく」とひ と言いうだけで良かったんです。それで自衛隊の

現場は動くようになっています。〝懲法違反〞の. 自衛隊だけれども、システムはできています。そ れを全然使わないで、無原則で敵方に塩を送るよ うなことばかりしてきたから、現場は混乱して国 民を失望させてきたんです。

経済でも軍事でも、総合力でガチンコ勝負をし たら日本は中国に負けません。しかし、なぜその 前に政治がへなへなへな~っとなって、「武器は 使うな」「手を出すな」と指示しなければいけな いのか。一般の人たちからすれば、政治家が中国 のハニートラップにかかった、つまり色仕掛けで 弱味を握られているのか、中国利権に目がくらん でいるのではないか、あるいは中国に対する誤っ た謝罪史観に縛られているのではないかと不信感 を持つばかりです。

稲田 政治家の覚悟かなあ。今回のことでは、 レアアースが止められて、日本人が拘束されて、 「早くなんとかしろ」と批判も高まってくる。筋 を通そうとしても、「どこまで国民がついてきて くれるのか」と考えたでしょう。それに耐えて、 「支持率が下がろうと何しようと、主権と国民の 生命、国土は守る」と頑張れる政治家がいなくな ったのかもしれません。政治家は国民やマスコミ

**から批判されれば、これでは選挙に勝てない、政** 権を維持できないど不安になる。現政権が世論の 批判をおそれ、尖閣事件で逮捕した中国人船長を 「検察の判断」と言い逃れして釈放したのもそう いうことだと思います。

佐藤 国民は違いますよ。尖閣でも筋を通して 船長を起訴することをみな信じて望んでいたし、 いま、懲法を改正してわが国を自力で守れるよう にするといえば、支持率は七割から八割に上がる と思います。

稲田 去年は、普天間問題、尖閣問題があり、 **危機が目にみえてきて国民の国防への関心も高ま** っていますからね。でも、日本の国民は忘れやす。 い、だからこそ、自民党が今、憲法改正を提起し ないと‱論にならないかもしれません。

野党だから思い切った正論がいえるということ もあります。自民党内には様々な意見があるとい われていますが、憲法改正は党是。戦後国ジーグ がなの脱却という意味からは自主意法の制定を訴 えるべきだと思います。

**佐藤 国民の意識でいえば、忘れてしまうとい** うこと以上の懸念があります。二〇〇八年の台湾 の立法院選挙では、親中国姿勢を見せ始めていた

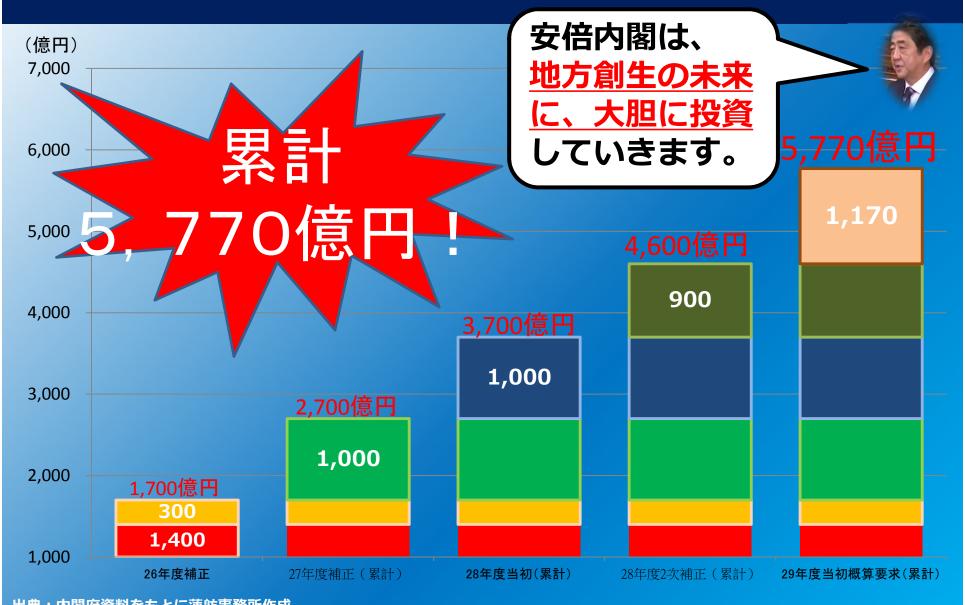
国民党が大勝し、総統選も国民党の馬英九氏が削 ・して再び政権与党になりました。以降、台湾の中 国への傾斜に拍車がかかったのはご存じの通りで す。なぜ台湾の人たちは独立を求めないのか。岡 崎研究所で当時、現地に入りましたが、高級官僚 も政治家も、台湾の独立に反対する中国が怖い、 台湾に照準をあわせている一千発のミサイルと核 が怖いと言うんです。武力で威嚇し、政治や経 済、文化などで影響力を使って「中国には逆らえ ない」という気持ちにさせる中国の心理戦に負け ているわけです。軍事力の増強を続ける中国を前 に、日本人の心理が今後、当時の白湾の二の舞い にならないという保証はありません。

#### 核保有に可能性はあるか

稲田 その韓國の核に対抗するためにも、日本 **資核兵器を保有すべきかどうか議論を始めるる。** 窓をいう意見が、北朝鮮が核実験を行った時と同一 機能需まりつつあります。

と思っています。有効だったのは佐藤栄作首相の 時代、昭和四十七年、沖縄返還時まででしょう。

### 地方創生関係交付金のイメージ



出典:内閣府資料をもとに蓮舫事務所作成

平成28年10月5日(水) 参議院予算委員会 蓮舫(民進党・新緑風会)

## 「大胆な投資」は地方を創生したか?

事業名	予算額	KPI	達成状況
低温プラズマ 技術新産業創生事業 (26年度先行型)	1億円	<28年3月> ● チョウザメ販売:50万円	● チョウザメ販売: <u>14.3万円</u> *他のKPIは達成
創業するならA県推進事業 (26年度先行型)	1億円	<28年3月> ● セミナーの受講による創業数:26件	● 受講による創業: <u>12件</u> *他のKPIは達成
B市中心市街地再生 を基軸とした生涯活躍の まちづくりプロジェクト (28年度)	6,000万円	<29年3月> ● 新規起業・創業創出数:1件 ● 雇用者数:1人 ● 空き家等の利活用:1件	● すべて実績「0」
C町CCRC推進事業 (28年度)	6,800万円	<ul><li>● 移住者受け入れ:30人</li><li>● 里山ものづくり講座・写真講座:各2回</li><li>● 里山ネイチャートレッキング講座:8回</li></ul>	<ul> <li>移住者受け入れ:23人</li> <li>里山ものづくり講座:1回</li> <li>写真講座:2回</li> <li>ネイチャートレッキング講座:3回</li> <li>健康に関する講座:7か所×1回</li> </ul>
SATOYANA MOVEMENT 拠点事業(28年度)	1 '	<29年3月> ● 外国人観光客:年間20人 ● 日本人観光客:年間100人	<ul><li>● すべて実績「0」</li><li>*対象地域を選定中のため事業開始しておらず。</li></ul>

26年補正~28年当初予算で、計 3,700億円 28年2次補正、29年要求で更に、 2,070億円

出典:内閣府資料をもとに蓮舫事務所作成

平成28年10月5日(水) 参議院予算委員会 蓮舫(民進党・新緑風会)

行っていく

